



週報 糸魚川

2024.2.15
第2977例会

No.28

2024.2.8
(第2976回例会 No.27合併号)

- ◆ 会長 樋口 浩 ◆ クラブ会報雑誌 新保照代
- ◆ 例会会場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210
- ◆ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- ◆ 創立 1960年9月10日 ◆ 承認 1960年10月12日
- ◆ 事務局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225
- ◆ 糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>
- ◆ 第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

本日のプログラム

- ・ 点 鐘
- ・ 四つのテスト
- ・ 会 歌 我等の生業
- ・ 会長挨拶
- ・ 幹事報告
- ・ 委員会報告
ニコニコ箱委員会
その他委員会
- ・ 卓話
会員 山田陽介君「私の履歴書」
- ・ 点 鐘

◆第9回定例理事会開催ご案内

日 時 2月29日(木) 例会後
会 場 例会場

◆24-25年度会長エレクト研修セミナー開催案内

日 時 3月9日(土) 受付9:30~
会 場 長岡グランドホテル
出席者 猪又直登会長エレクト

◆南雲年度ロータリー防滅災セミナー開催案内

日 時 3月23日(土) 受付13:00~
会 場 長岡ミライエ ステップ
出席対象者 南雲年度地域協働ネットワーク
センター連絡員

次回例会プログラム

- ◇2月22日(木)
24-25年度和泉ガバナー補佐訪問日
会員卓話 歌川多喜司君
「新規ホテル事業の取り組みについて」

◆中条胎内RC創立30周年記念式典開催案内

日 時 4月20日(土) 受付13:00~
会 場 中条グランドホテル
出席者 樋口会長、松澤副会長

出席報告

- ◆2月1日(木) 17名
- ◆2月8日(木) 10名 味覚の会

ニコニコ箱 2月1日 *****

藤巻 賢策君 転倒にはくれぐれも注意しましょう。
歌川多喜司君 月岡社長、本日はお忙しい中ありが
とうございます。お話しを楽し
みにしています。

渡邊 博君 月岡社長様、本日の卓話ありが
とうございます。
楽しみにしております。

幹事報告

- ◆2月3日(土)第2回米山奨学セミナーがホテル
オークラ新潟で開催されました。
出席者 樋口会長

- ◆2月8日(木)親睦事業夜間移動例会「味覚の会」
が煌凛丸で開催されました。
出席者 10名

◆中央RCコーナー

2月16日(金)
高田RC 高坂 光一様
「ポリオ撲滅について」



ポールハリス フェロー表彰

小田島修平君 PHF+4

佐藤 元春君 PHF+1

中濱 智君 PHF+1

おめでとうございます!



親睦事業「味覚の会」

2月8日(木) 煌凛丸に於いて味覚の会が開催され、糸魚川冬の味覚「あんこう鍋」を囲み、交流を深めました。出席者 10名



「西のフグ、東のあんこう」と称される糸魚川を代表する冬の味覚あんこう。あんこうといえば高級魚ですが、糸魚川では古くから冬の郷土料理として家庭の食卓に並んでいた馴染み深い大衆魚。糸魚川の海は北アルプスの2000m級の山々が一気に深い海溝へとなだれ込む急峻な地形の海で、冬の日本海の荒波に揉まれながらたくましいあんこうが育ちます。あんこうの「七つ道具」と呼ばれる各部位はそれぞれに違う味わいがあり、捨てるところがありません。

あんこう祭りは糸魚川会場ヒスイ王国館で3月10日(日)に開催されます。

◆個人寄付 2月1日(3名8,000円)

氏名	スマイル	R財団	米山財団
藤巻 賢策君	1,000	1,000	1,000
歌川多喜司君	2,000		
渡邊 博君	1,000	1,000	1,000
合計	4,000	2,000	2,000

先週の卓話 *****

「月徳飯店30年の歩みとこれから」

有限会社月徳飯店

代表取締役社長 月岡浩徳様

今年正月1日から地震に見舞われ大変な事態となりました。私たちは一旦糸魚川中学校まで避難しましたが夜には戻り被害を確認しましたところ、2階の配膳室は物が飛び出し、厨房ではガスがやられており2日の日も休業しました。3日から営業できましたがキャンセルが相次ぎ1月の3連休がこんなに暇でどうしようと思いましたが、商売ができるだけありがたいと思ひ歓送迎会の予約も出てきましたので気を引き締めて頑張りたいと思います。



月徳飯店は私で3代目となります。昭和32年祖父が国鉄をやめて最初小間物屋を開き、その後飲食店となりました。私は昭和63年、高瀬会長の紹介で横浜の中華料理店へ勤めました。ちょうどバブルの真ただ中、ものすごい景気でこのまま続くと思いましたが、崩壊が一気に来て、ビル群のテナントはガラガラとなりました。景気のいい時は仕事のあと高級すし店や焼肉によく連れて行ってもらい台湾旅行にも連れて行ってもらいました。

平成5年糸魚川に戻り昨年30周年を迎えました。息子がおりますが私の代で廃業を考え、いろいろ手続きを考えていたところ、昨年5月息子が跡継ぎとして帰ってきました。コロナは収まりつつありますが地震や飛行機事故など天変地異で何が起きるかわかりません。時代の変わりめであり、いろんな価値観が総崩れで変わってきていると感じています。店は出せば当たるという時代は終わり、今やお客様は舌、目が肥えていて情報も多く、腹をくくってやらないと本当に大変だと思います。息子はこの厳しい道に入ってきましたが、この先どういう店にしていくのか楽しみでもあり、生き抜いていかなければならないと思います。息子は海外に向けて店を展開していきたいという明確なビジョンもあり、ラーメンもやってみようというので、4代目を守るのはおまえだと言っております。

仕入れ材料も3月からまた値上がるようです。物価上昇を打破するには地産地消で頑張るしかありません。本当に商売は難しいと思います。コツコツやっていけば自分の想いが届くのかと思います。今後とも月徳飯店をどうぞよろしくお願いいたします。